

意見交換の場の開催結果概要について

1 概要

(1) 日時，来場者数

【オープンハウス（地盤補修工事箇所の周辺）】

令和4年10月7日（金） 午後6時～午後8時25分 （14人）

令和4年10月8日（土） 午前10時～午後0時5分 （16人）

【意見交換の場】

令和4年10月8日（土） 午後1時5分～午後3時 （40人）

【オープンハウス（調布市域）】

令和4年10月8日（土） 午後3時30分～午後5時30分 （50人）

(2) 場所

調布市立滝坂小学校

2 意見交換の場での住民意見

【オープンハウスのやり方について】

- ・説明資料を当日渡されても読み込めない。何日か前に公開して住民が読み込んでからこの場を設けた方がいい。事業者が説明する時間は無駄だ。
- ・意見交換の場にマスコミをいれるべき。公平性という意味でも市民，事業者両者の言い分を取材して報道してもらうのがいいと思う。
- ・一定の範囲の人しか入場できないのはなぜか。専門的なことは住民ではわからないため，住民の味方になってくれる専門家も交えて討論すべき。
- ・マスコミを入れるのが必ずしも良い方法とは限らない。
- ・工事の影響がある人に説明が行き届いていないのではないか。
- ・本日だけでは納得できないため，マスコミ・専門家も交えた説明会を調布市から要望してほしい。

【今後の検討の進め方について】

- ・これで決まったと考えずに，今後も試行錯誤する姿勢を見せてほしい。トライアルとして1，2軒分を補修工事した後に，そこで発生した問題点を考える場があってもいいのではないか。
- ・地盤補修工事は，大深度法とは関係なく，発生させた事象に対して一事業者が対応しているということならば，住民の声をよく聞いたうえで進めていくのが当然だ。
- ・オープンハウスが終わったら解体をはじめめるのではなく，よく住民の声を聞いてほしい。せめて新学期になるまでは待つべき。
- ・ボーリング調査時も武蔵野礫層を抜くのが大変だった。地盤補修はそれが2年

も続くのだから、住民合意が必要。工事がはじまってからも定期的に住民と対話をしてほしい。

- ・ 次回のオープンハウスをいつやるのか知りたい。その場には権限がある人と鹿島建設も呼んでほしい。どこがどう責任を負うのか教えてほしい。

【地盤補修工事について】

- ・ 高齢の方が増えているから、前に進めることを考えるべき。
- ・ トンネル坑内から地盤補修することはできないのか。
- ・ 地盤補修工事を進める中での地盤調査の話が全く出てこないが、そういった点もしっかり行い、不要な箇所は補修しない、新たなゆるみがあれば補修するなど適正範囲を工事すべき。
- ・ 市道東76号は、解体工事でも地盤補修工事でも車両が通行する予定になっているが、松原通りなども利用し交通を分散するようにしてほしい。
- ・ 政治的な話は、疑義がある人が裁判を起こせばいいが、それとは別に地盤補修工事は進めなくてはいけないと思う。
- ・ 小学校や幼稚園にどういうお知らせをしているのか。そういうことを怠ったうえで工事をしたら絶対に事故が起きる。警備員を何時から何人配置するのか。「丁寧に対応する」ではなく、具体的な対策（柵を設置するなど）を示してほしい。
- ・ 高圧噴射攪拌工法の実績の中には事故があったものもあると認識している。そう言ったマイナスな部分も公開してほしい。

【地盤補修工事の搬入ルート案(ケース1～4)に対する意見】

- ・ ケース3と決めたわけではないという話を聞いていたが、資料の書き方だともう決定されたように見える。検討中と記すべき。

【その他】

- ・ 少なからず生活に影響が出るが、地域住民がこれを許容するメリットは何か。地盤を補修するだけでなく何かプラスになることがないと許容できない。
- ・ 現場の人間が判断できないのならば、権限のある人がきて説明すべき。
- ・ 大深度法は破綻しているのではないか。
- ・ 住民税を払い続けている市民がたくさんいるのに、被害を受ける住民に対して市は何もしないのか。
- ・ 買取した土地の権利が鹿島建設になっている。今後の土地活用を考えるとしてもネクスコと鹿島建設のどちらを向けばいいのかわからない。
- ・ 住民にはマイナスしかない。ゼロになるような話を持ってくるべき。